

整備の基本方針

- ①武道競技の推進拠点として活用できる施設
(競技基準に適合した充実した柔道・剣道専用競技場)
- ②武道をはじめとする大規模大会を開催できる施設
(柔道・剣道8面、ハンドボール2面等を設置可能な多目的アリーナ)
- ③県民の生きがい、健康づくりを支援する施設
(県民の交流の場としても利用できるエントランス)
- ④スポーツツーリズムに活用できる施設
(多彩なコートレイアウトを可能とする可動席設置スペースの確保)
- ⑤県民の命を守る防災拠点としての施設
(現地調整機能・広域搬送拠点臨時医療施設等に活用できるスペースの確保)
- ⑥大分スポーツ公園の全体景観に調和した施設
(大分銀行ドームと調和したデザインの採用)
- ⑦省エネ、ライフサイクルコストに配慮した施設
(空調のエネルギー効率向上等による維持管理経費の削減)

施設の概要

- ◆武道場施設
 - ・柔道場(2面)、剣道場(2面)、副道場(2面)を設置
- ◆多目的アリーナ施設(最低40m×81m(3,240㎡)を確保)
 - ・柔道及び剣道8面、ハンドボール公式コート2面、バレーボール5面、バスケットボール4面の設置が可能
 - ・観客席は、固定席として2,000席程度を確保
- ◆トレーニング施設
 - ・トレーニング室、キッズルーム、救護室等を設置
- ◆共用施設
 - ・エントランス・ホワイエ、共用会議室等を設置
- ◆建設費・施設面積
 - ・65億円上限 ・14,000㎡程度

スケジュール(予定)

【H27】	12月中旬～	基本設計(～3月下旬)
【H28】	2月下旬～	実施設計(～10月下旬)
【H29】	3月下旬～	工事契約・着工
【H31】	4月中旬	竣工
	9月20日～	ラグビーW杯開催(～11月2日)

建設予定地



基本設計者によるプロポーザル提案時の内容



提案者：能勢修治氏(株式会社 石本建築事務所)